

『青い鳥』

新潮文庫
著者：重松 清



私は歯学部卒前臨床実習と、大病院の歯科医師卒業後臨床研修の主たる診療室である「総合歯科」で勤務している歯科衛生士です。「総合歯科」で勤務している歯科衛生士です。病院の技術職員ではありませんが、学生さんや研修医の先生方に対して、臨床現場ならではの器具・機械などの管理や歯科治療を受ける患者さんに対する診療の姿勢など、実習や研修の教育現場において教員が行いにくい部分を指導しています。この度は「岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教育功労賞」を受賞しました。今後も学生さんや研修医の先生方とともに、学んでいけたらと思います。

お薦めの一冊は、岡山県出身の重松清さんの『青い鳥』です。「青い鳥」と言えば、メーテルリンクを思い浮かべますが、これは、ある中学校の非常勤講師のお話です。

主人公の村内先生は、国語の先生なのに、言葉がつかえてうまく話せません。でも、授業よりもっと大事な仕事があり、先生にはあります。いじめの被害者の生徒、父親の自殺に苦しむ生徒、気持ちを伝えられずに抱え込む生徒、そして家庭を知らずに育った生徒など、生徒一人一人にきちんと向き合い、じっくり話を聞いて、ひとりぼっちの心にそっと寄り添い、本当に大切な事は何かを教える仕事です。村内先生は吃音なので、うまく話せません。でも、その分、大事なことがしっかりと話してくれまます。とくに最初のお話とラストのお話では、涙すること必至です。

こんな先生に出会えていたらどんな財産になっていたでしょう。か。誰もが胸を打たれ、誰もが共感できる物語だと思います。些少ではありますが、教育に携わる者として考えさせられる場面が多いです。物語の中に渦巻く、後悔、責任、そして希望。そういうものを読み取って欲しい作品だと思います。

重松清さんが書く文章は、飾りが無いのに美しい。さすが直木賞作家ですね。ぜひ、学生さんのみならず、教職員の方々にも、読んでいただきたい本だと思います。

年間後記



この額は、一九八九(平成元)年から八年間在職していた石川県農業短期大学(現・石川県立大学)のゼミ生から卒業記念として贈られたものです。「仏の…」という額を贈られた上司の「学生はちゃんと見えますね。鬼という言葉に感謝の気持ちがあるからいいですよ」という囁きに、不覚にも鬼の目にも涙でした。

鬼とは大仰ですが、厳しく指導したのは、自分を堕落させないためです。三十五歳で教員となり、「先生」と呼ばれるたびに、勘違いをししかかっている自分に気がついたからです。自分を律するために、身近なところに厳しい監視者を置く、その最適任者が学生です。鬼ならではの厳しい指導をすればするほど、彼ら彼女らの私への視線も厳しくなるのです。「小松！ 自分には甘いぞ！」と。この意図的に創りあげた緊張関係の中で、互いに少しは成長できたようにです。

評論家・西部邁氏はその著『小沢一郎は背広を着たゴロツキである。』(飛鳥新社二〇一〇年)で、指導力は決断力と説得力からなるとしたうえで、「説得力は人格からやってくる。そして人格は、表情や物腰を含めた意味での言葉によって創られる。言葉をほとんど発しない者、発したとしても恐ろしく平板にして平凡であり凡庸にして低俗であるような言

昨年引き続き、鬼の話からで恐縮ですが、「鬼の小松」とパソコンで打たれた写真の額が研究室に飾られ、私を見守って、いやそっではなく、厳しく監視してくれています。

葉、そんなものしか持ち合わせていない者の人格は高が知れている。」と喝破し、正論を射抜いています。

スタンフォード大学ロバート・サットン教授は、『部下を守る「盾」となれぬか(The Boss as Human Shield)』(ハーバード・ビジネス・レビュー二〇一一年二月号)という論考で、説得力無き指示から部下を守る手段として、「創造的無能」(重要ではない用事を押しつけられ、しかも無視できない場合)、さっさと片づけて、より重要な課題へと進むことと、「悪意に満ちた恭順」(愚かな命令に逐一従い、その仕事を失敗に終わらせること)という、面従腹背をすすめています。

不毛で、非生産的で、悲しみを覚えざるすめに、心からの賛意を表す気にはなりません。自分自身の来し方を思い起こす時、このような行動でやり過ぎしてきたことも少なくありません。無能な上司の上意下達(トピダウン)は罪作りなものです。

学生たちに、このような行動を選択させないために、制度にのみ裏付けられた立場を踏覚することなく、自律かつ自立を旨として生きて行きたいものですが、色あせた額が重みを増し、おろすにおろせなくなっております。困ったことに。

(編集委員長 小松 泰信)

より良い広報誌を作成するために、みなさまからのご意見・ご要望をお待ちしております。取り上げてほしい話題、質問したいことなど、何でも結構ですので、右記連絡先までお寄せください。

岡山大学広報誌 第60号 2011.2

いよび

発行/岡山大学学長戦略室
〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1
TEL. (086) 251-7292 FAX. (086) 251-7294
E-mail. www-adm@adm.okayama-u.ac.jp
<http://www.okayama-u.ac.jp>

